

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

お客さまへ

※本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取り付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

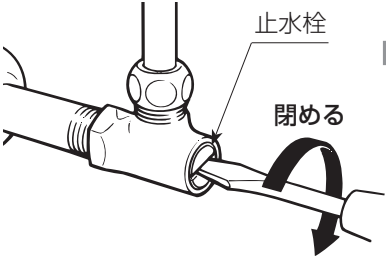
1 分岐金具の取付け

注意 1 参照

1. 止水栓を閉めます。

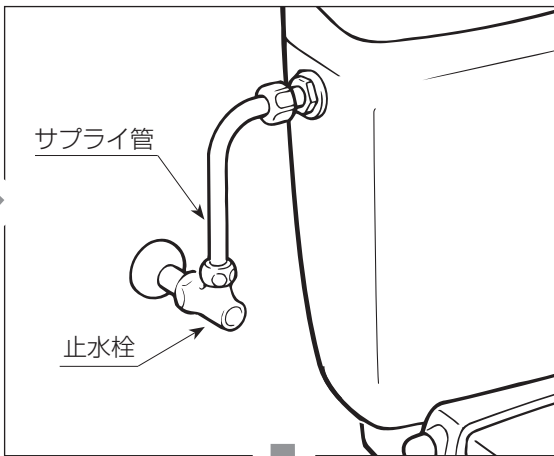
便器の止水栓を⊖ドライバー等でいっばいに閉め、給水を止めます。

※止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



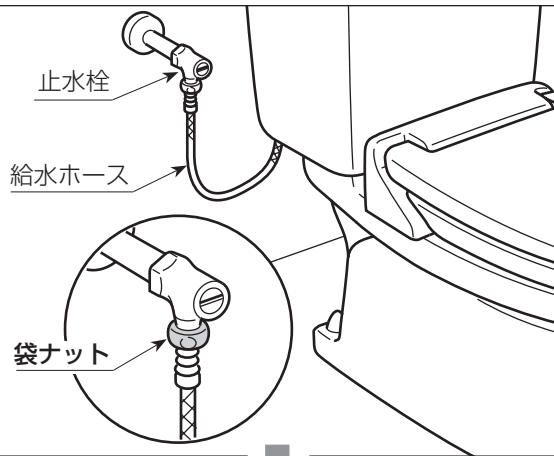
2. 給水の確認を行います。止水栓と便器（タンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付け方法が異なります。

■止水栓と便器（タンク）がサプライ管で接続されている場合

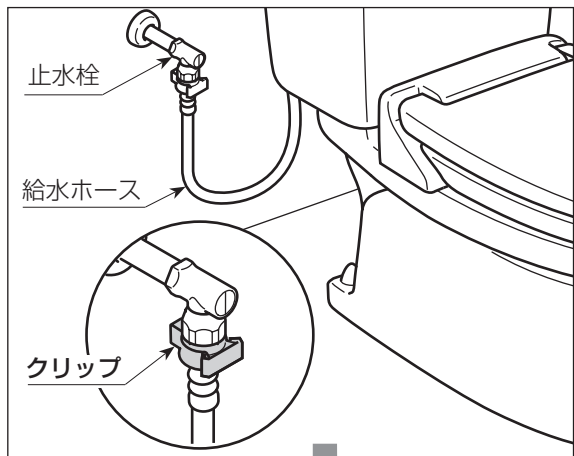


■止水栓と便器（タンク）が給水ホースで接続されている場合

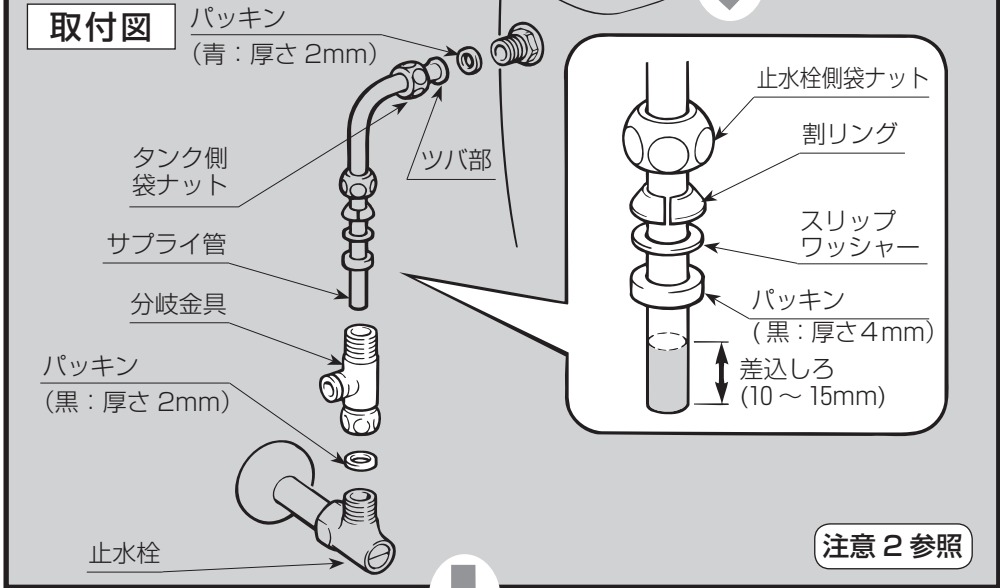
●給水ホースを袋ナットで固定



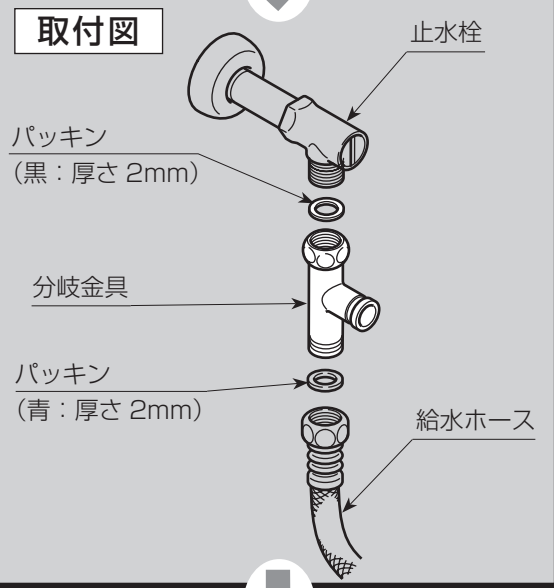
●給水ホースをクリップで固定



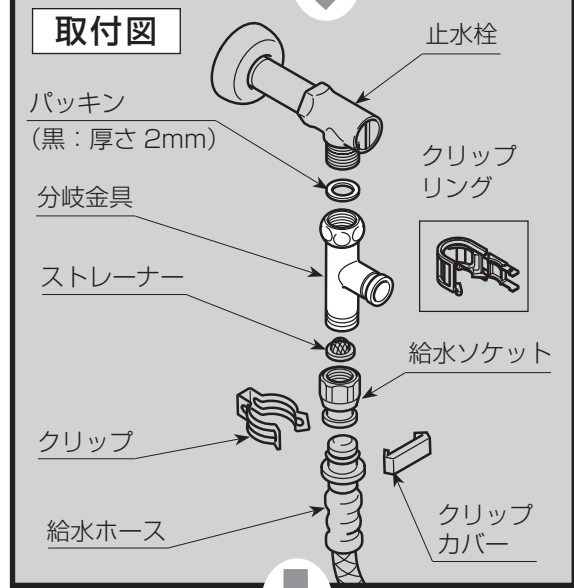
取付図



取付図



取付図

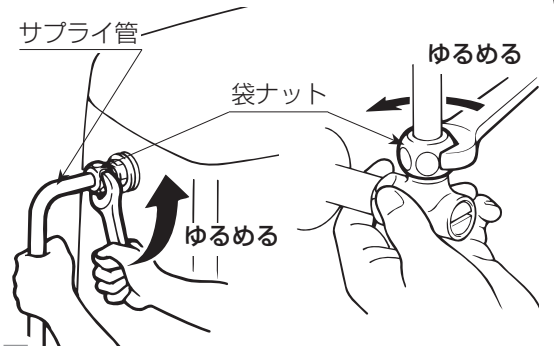


3. サプライ管を外します。

- (1) タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサプライ管を外します。

※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

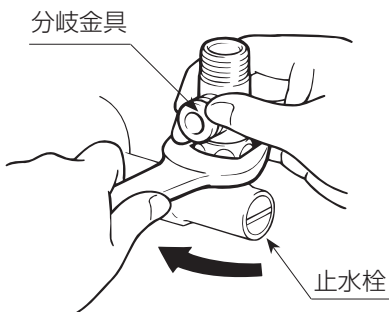
注意 3 参照



4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）

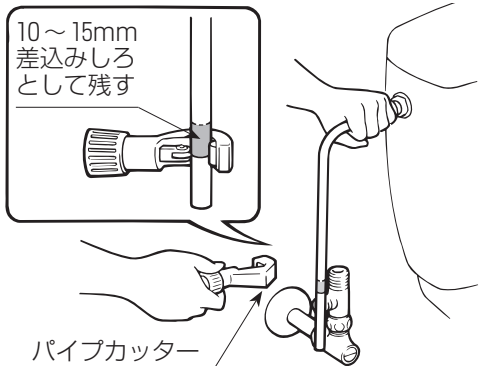
別売品のタンク給水ホースを取り付ける場合は、裏面の「補足」をご覧ください。



5. サプライ管を切断します。

- (1) サプライ管の端（ツバのない側）を現物合わせで、分岐金具の差込しろとして 10～15mm 残るように印を付けます。
- (2) パイプカッターを使ってサプライ管を切断します。

注意 5 参照

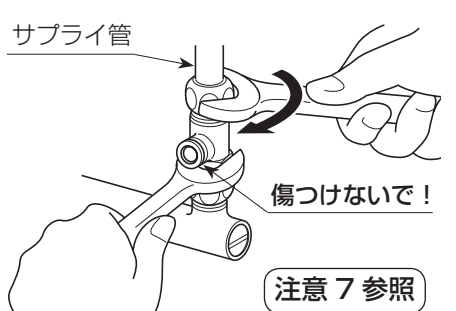


6. サプライ管を取り付けます。

- (1) 切断したサプライ管にタンク側の袋ナット、分岐金具側の袋ナット、割リング、スリップワッシャー、パッキン（黒：厚さ 4mm）を通して分岐金具に差し込みます。（上記の取付図参照）
- (2) ボールタップとサプライ管の間にパッキン（青：厚さ 2mm）をはさみ、タンク側の袋ナットをはじめに手でいっばいに締め付けてから工具で増締めします。（注意 4,6 参照）

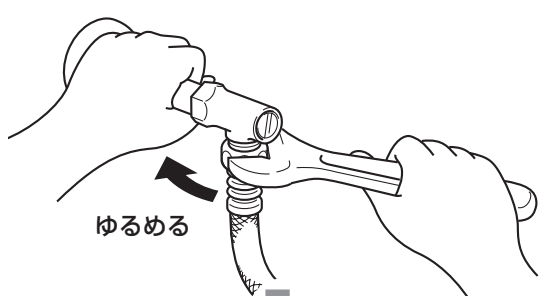
- (3) 分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっばいに締め付けてから工具で増締めします。

（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）
増締め時、分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当てて、分岐金具を固定しながら袋ナットを締め付けます。



3. 給水ホースを外します。

- (1) 止水栓側の袋ナットをゆるめます。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



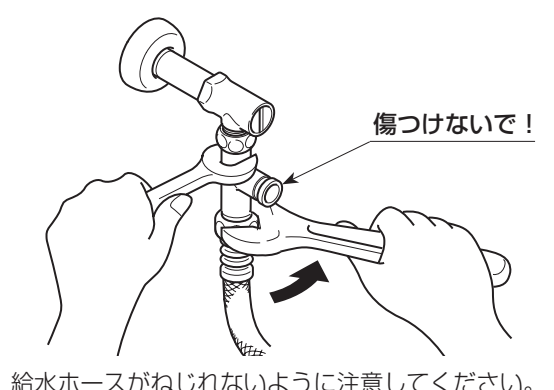
4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）



5. 給水ホースを取り付けます。

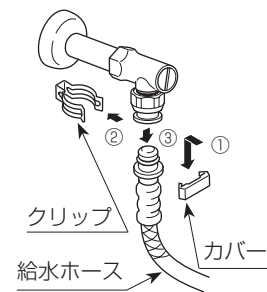
- (1) パッキン（青：厚さ 2mm）を入れて給水ホースを分岐金具に取り付けます。
- (2) 分岐金具の六角部にスパナーまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、給水ホースの袋ナットをスパナー等でしっかり締め付けます。



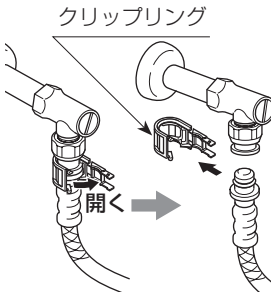
3. 給水ホースと給水ソケットを外します。

- (1) 止水栓からクリップを外してホースを抜きます。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

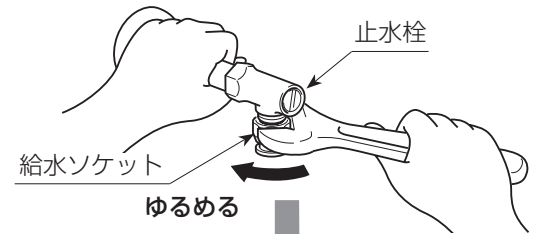
■クリップ式の場合



■クリップリング式の場合



- (2) 給水ソケットとストレーナーを外します。



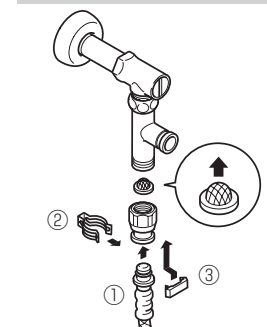
4. 分岐金具を取り付けます。

（左記参照）

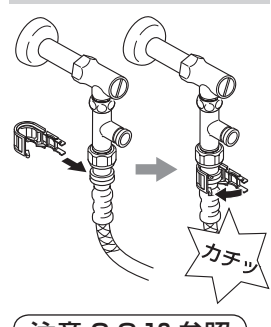
5. 給水ホースと給水ソケットを取り付けます。

- (1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。
（締付トルク 10～15N・m {100～150kgf・cm}）
- (2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップで固定します。
取付け後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

■クリップ式の場合



■クリップリング式の場合



注意 1

- 止水栓に分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006（止水栓付）を使用してください。

※上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

注意 2

- 各部品の向きと順序を間違えないでください。
※間違えると漏水します。
- 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24C）を別途手配してください。

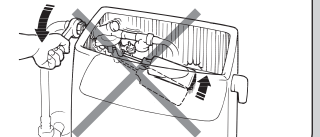
※漏水の原因になります。

注意 3

- 止水栓やサプライ管に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。

注意 4

- ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締めてください。
※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



注意 5

- サプライ管のツバ部は絶対に切断しないでください。
- サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続してください。
- 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定してください。
※漏水の原因になります。

固定できない場合はタンク給水ホース（別売品）をご使用ください。

注意 6

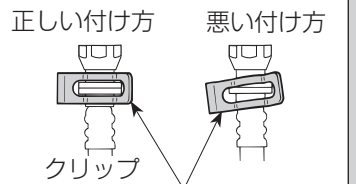
- 当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配のストレーナー付パッキンに交換してください。
このとき同梱の青パッキン（厚さ 2mm）は取り付けしないでください。
品番：26-10-2

注意 7

- サプライ管の接続は確実に行ってください。
※袋ナットの締付けが不十分ですと漏水する恐れがあります。

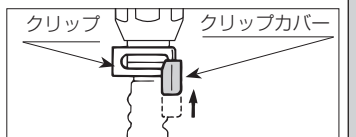
注意 8

- リングを傷つけないように注意してください。
※リングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- クリップは確実にハマ込めてください。
※きちんとハマっていないと漏水します。

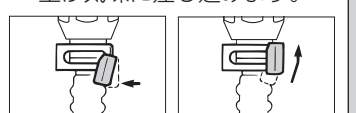


- クリップカバーは下記のようにはめ込んでください。

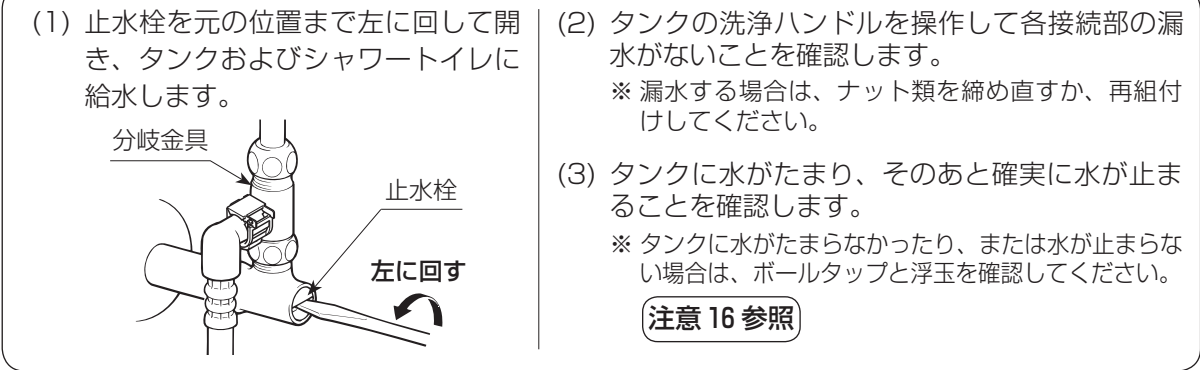
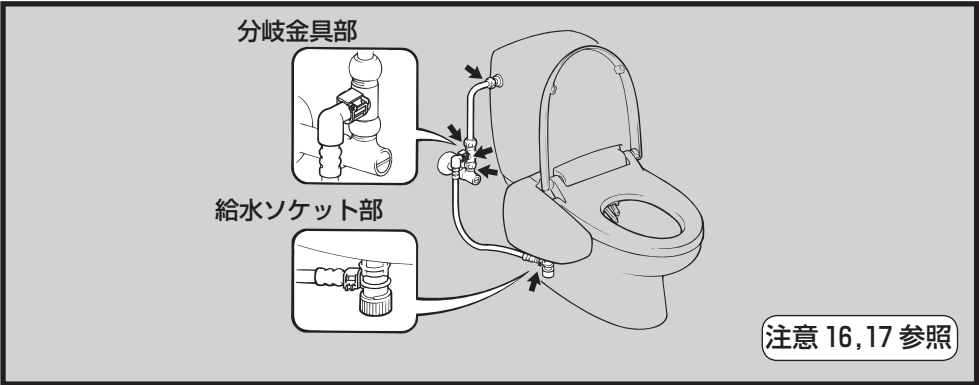
① クリップカバーをクリップに引っかけます。



② クリップカバーの後側を押し上げ気味に差し込みます。



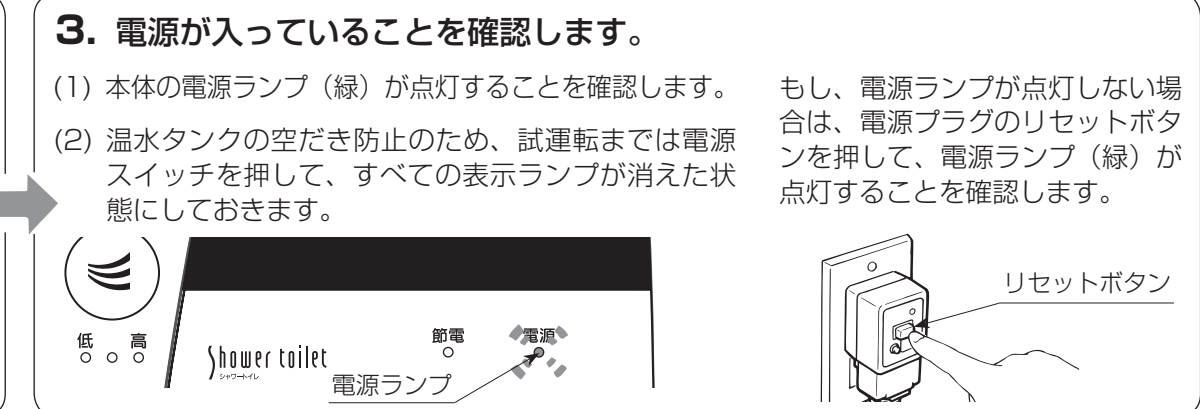
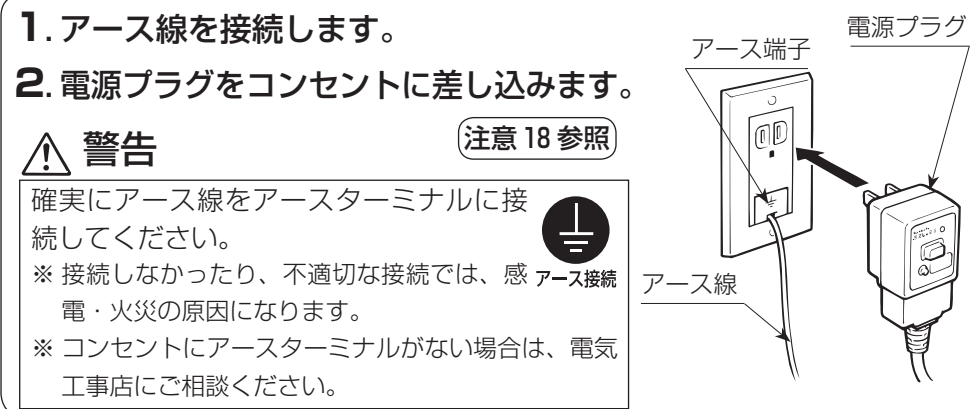
5 通水の確認



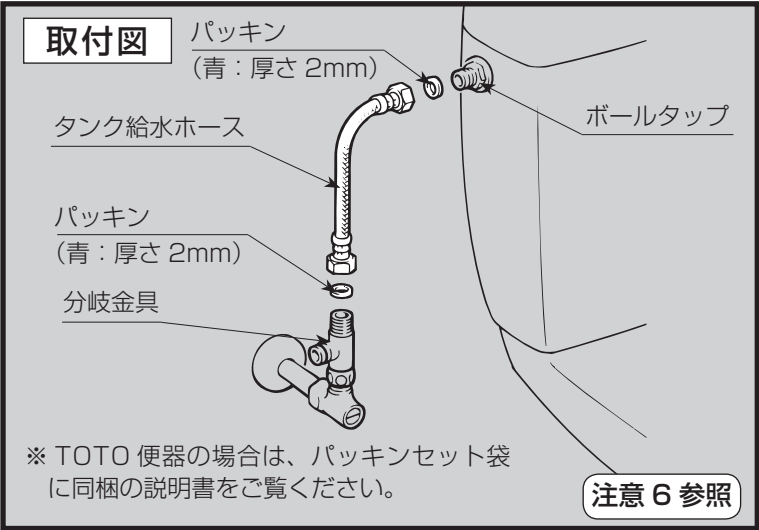
6 リモコンの位置決め・取付け（リモコン付の場合のみ）

※ CW-K47, K45, K37, K35 型…リモコンに同梱の施工説明書をご覧ください。
CW-K47Q, K45Q, K37Q, K35Q, K43Q, K41Q, K33Q, K31Q 型…フルオート便器洗浄ユニットに同梱の施工説明書をご覧ください。

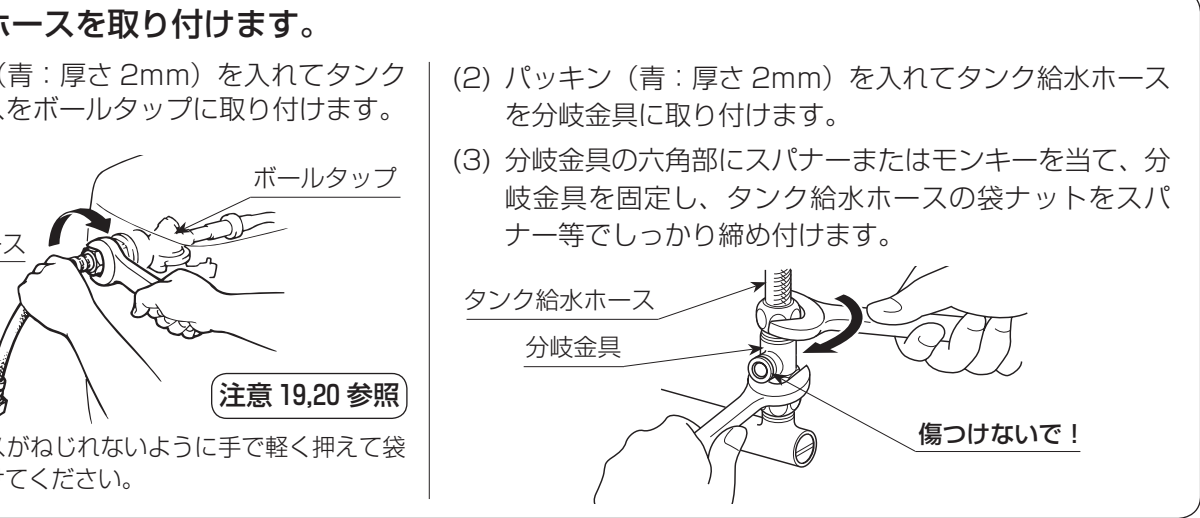
7 電源の接続



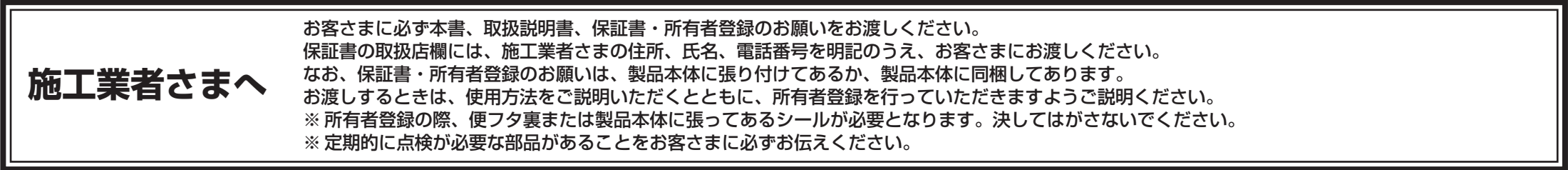
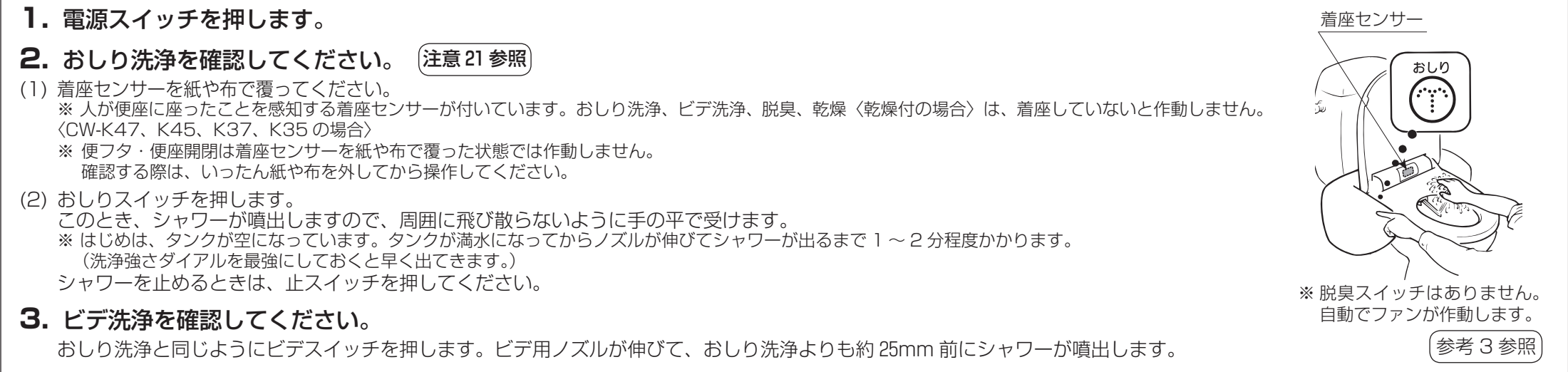
【補足】タンク給水ホース（別売品）の取付け



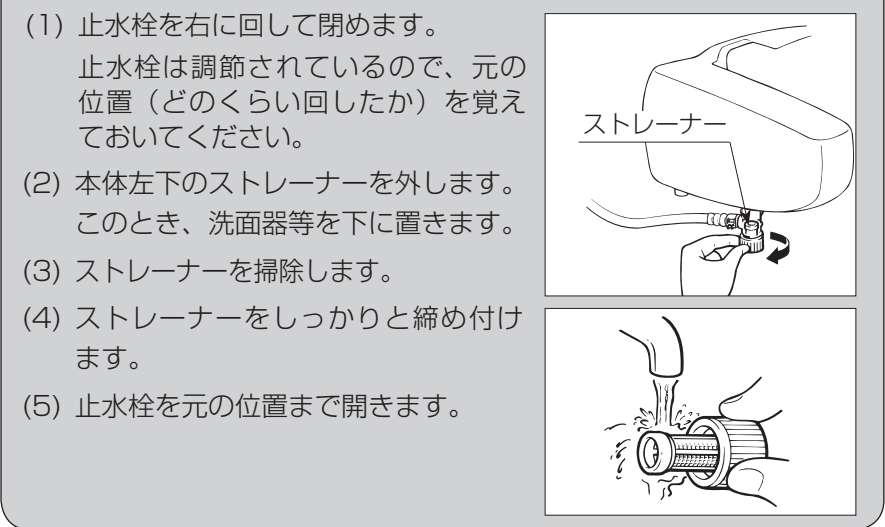
●先頭ページの【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。



試 運 転 （施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）



水の出方が悪い場合は、給水ソケットの中にあるストレーナーを掃除してください。



お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

